

国避難計画「影響せず」

大飯3、4号 再稼働判断で知事

新規制基準に合格した関西電力大飯原発3、4号機の再稼働の同意判断について、西川一誠知事は25日の定例会見で、「国の広域避難計画と必ずしも結びつくものではない」と述べ、政府の原子力防災会議（議長・安倍晋三首相）の避難計画の了承がなくても判断する考えを示した。

原子力規制委員会は5月、大飯3、4号機の安全対策が新規制基準に適合していると認める審査書を正式決定した。

西川知事は、建物や設備の詳細設計を示した工事計画や運転管理体制をまとめた保安

規定の認可は「そんなに時間を置くことなくあると思う」と述べた。同意判断する材料として▽審査の状況▽県原子

力安全専門委員会の審議▽お問い合わせの考え▽県会の議論を挙げたが、時期については「工事計画などの認可のタイ

ミングにかかっている」と明言を避けた。

大飯3、4号機を巡っては、住民らが再稼働差し止めを求めた訴訟の控訴審が名古屋高裁金沢支部で続いている。これについては「裁判は裁判として判断すること」と述べ、同意判断には影響しないと強調した。

（牧野将寛）